



**ご存知
ですか？**

作業療法士①

(リハビリテーション科 沢田 裕之)

8:30 朝ミーティング

一日の業務を確認します。



9:30 午前の診療開始



脳の働きなどの機能を検査

12:15 昼休み

13:15 午後の診療開始



腕の機能の検査や訓練

16:45 控え室にて記録作成

検査結果をまとめます。また、患者様ごとに問題点を挙げ、訓練計画を立てます。

17:15 終業

作業療法士は、患者様が日常生活や社会活動をスムーズに行えるように援助をするのが仕事です。対象となるのは、骨折や脳卒中、パーキンソン病などの患者様で、特に腕の動きを中心に、固くなった関節の動く範囲を大きくしたり、低下した筋力をつける訓練をします。脳卒中で見られる麻痺に対しては、自分の意図した運動をスムーズに行えるようにしたり、身の回りの動きを一人で行えるように訓練します。また、脳卒中やパーキンソン病などでは運動以外にも脳の働き(言われたことを記憶したり、身の回りの行動に注意力を働かせたりすること)も低下することがありますので、脳の働きを活発にさせたり、実際の生活場面を想定し、繰り返し練習したり、生活環境を整えたりします。

人間が生活していくには自分の体を自由に動かせることも大切ですが、日々の生活で大事なことを記憶したり、これから行動することを順序立てるなど脳の働きもとても大切です。作業療法では、体の動きはもちろんですが、患者様を広い視野で見て、より良い生活のためのお手伝いが出来ればと思います。

